



# 枚方市議会議員 池上典子の市政報告NEWS

池上典子のホームページ

<事務局>枚方市楠葉中町35-16

<TEL/FAX> 072-856-2901

<枚方市役所> TEL.072-841-1221 (代表)

携帯用QRコード



<http://www.ikegami-noriko.jp> (いけがみーのりこ.jp)

この市政報告は、市政調査の為に発行しています。皆様から頂くメール、お手紙等はパブリックコメントとして議会活動に生かしていきますので、ご意見をお待ちしています。

統一地方選挙の春です。街中、駅前では  
「あれもしました。これもやります。」の大合唱が聞こえます。

本来は、行政のチェック機関である議会が、行政と競いながら事業を増やし、その優先順位を変え、市の事業を拡大することを「議員の力」とし、税金をばらまき、票に変えていく。

その結果が国・地方の天文学的借金です。

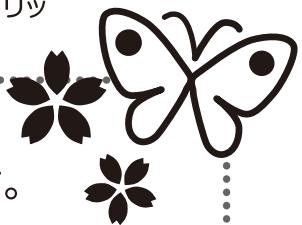
ネット環境にある方は、一度「財務省のホームページ」→「国の家計簿」を見ていただきたいと思います。あんな家計簿は普通の家庭ではありません。それを「家計簿」という言葉で出してくる感性と、意識のズレに驚きます。

「あれば嬉しい程度のものが、まだ必要ですか?」と、私は以前から皆さんに問いかけてきました。その意味では、すでに有権者の方の認識に政治が追い付いていないようにすら思えます。

国の政治が混迷を深める中で、政治に対

する有権者の方の怒りやあきらめをひしひしと感じることが多いのですが、こんな時にこそ次の世代の為にも、少しでも前に、ひるまず、突破口を見出していく決意しています。

\*池上も市議会議員としての4年間の任期が4月に満了しますので、今回は総集編ということでお届けします。メール、お葉書、パブリックコメント等、沢山のご意見を本当にありがとうございました。



## [池上のりこプロフィール]

生年月日：1953年 1月5日生 (B型RH+)  
経歴：1971年 岡山県立津山高校卒業  
：1975年 日本大学法学部卒業  
：1995年 枚方市議会議員 初当選  
：2007年 枚方市議会議員 4期目  
家族：夫、3人の子供  
大きさ：身長/163センチ、体重/?  
ニックネーム：「がみちゃん」

池上のりこは、16年前の春4月、小雨の降る日曜日に4205人の市民の方によって枚方市議会に送って頂きました。サラリーマンの妻という「地盤・看板・かばん」何もない選挙の中で、「開かれた市政」「生活者の視点に立った市政」を訴え、これは現在でもゆるぎない私自身の原点です。



そのころの枚方市は、年数回にも及ぶ職員の不祥事や約3000人もの職員人件費が、平均で1人年間約**1000万円**という一般社会から隔絶した状況でした。

また、学校現場では中学校の**地元集中運動**等が恒常化され、15歳の受験生を教育現場が叩くという人権上も許されない事態が横行していました。

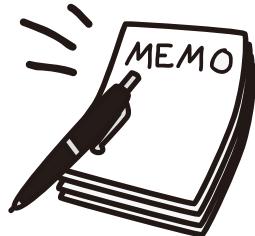
そして議会はというと激しいイデオロギー論争と共に、行政と競い合いながら事業を拡大し、増やし、票に変えていくという、納税者不在のまさにワンダーランドに見えました。

そのような状況の中で、**火葬場**もその大部分を他市に頼り、老朽化した**清掃工場**の再建のめどさえ立たず、**市民病院**では名誉院長を筆頭に業者との供應、患者の方からの金品の受け渡しが病院ぐるみで常態化しているという、市民生活のセーフティーネットは穴だらけの状況でした。

職員の違法性を疑わせる人件費支出はもとより、産業廃棄物の搬入事件、生活保護の不正受給、地域の地上げ業者との戦い、入札の疑惑への指摘



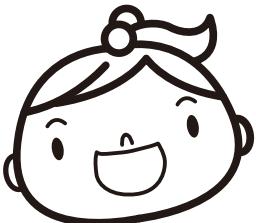
等々、「文句を言いながらでも、キチンと税金を払っている」納税者の視点で一つずつの事業チェックを行ってきました。



議員の仕事は色々あろうと思いますが、今、市民から議会に求められるのは国も地方もまずはチェック機関として市民から与えられた「調査権」のフル稼働、そして、持続可能な制度の確立だと考えています。

リーマンショック以降、厳しい社会状況が若い子育て世帯を直撃しています。保育所に入れない待機児童も多く、潜在的なニーズも考えれば「待ったなし！！」の状況です。子育て支援は若い世代だけではなく、高齢世代の年金、また、少子化の中で女性の社会参加への砦になります。選挙目当てのバラマキは止め税金の流れを変え、食い逃げを許さない

**持続可能な社会の構築**こそが、必要です。



枚方市は、池上が議会に送って頂いた平成 7 年度から普通会計の実質収支が赤字に転落し、平成 11 年度には 29 億 7600 万円の赤字を計上するまでになり、**財政再建団体（自治体倒産）**

転落の危機を迎えるわけですが、職員人件費の削減をはじめとする徹底した「行財政改革」、また、その後の緩やかで息の長い景気回復も相まって財政状況は急激に改善されてきました。



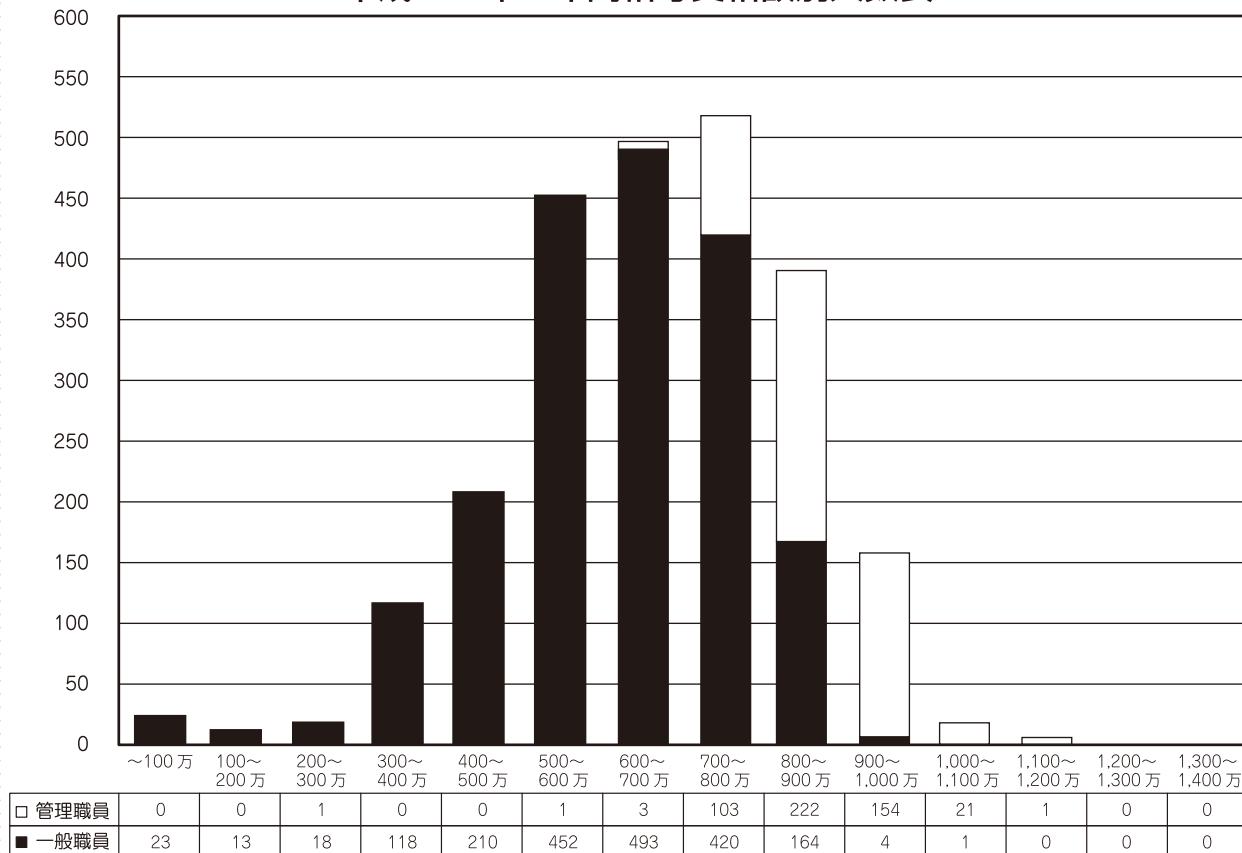
しかし、津波のように押し寄せる不況の影響から市税収入が落ち込み、平成 19 年度、平成 20 年度と 2 年続けて単年度赤字を計上し、平成 21 年度においては、借金をして黒字を出したという財政トリックともいえる状況の

中で、枚方市は 「財政良好宣言」 を出してしまったのです。

財政の根幹である市税収入が、下がりこそそれ上がる見込みはないという財政当局ですら認めている現実があり、扶助費（生活保護や福祉関係のお金）は年々増加の一途をたどる中で、昔は市長室の入口にあった 「行財政改革の看板」 が消えました。すでに役所の中は緊張の糸が緩んだ感がします。

そして、平成 22 年度ではついに、 枚方市の職員給与が国家公務員給与を上回ってしまったのです。 (ラスパイレス指数 100.5)

平成 22 年 年間給与支給額別人数表



(注) 市長等の特別職、市議会議院及び派遣職員、医師を除く。平成 22 年総支給額による区分 (源泉徴収票ベース) 総支給額 / 年

■2422人の職員(内管理職: 506人)の平均給与が約 665万3000円です。

■定年退職後の再任用職員約 250 人については含まれておりません。

\*若い職員は 10 年後、20 年後に現在の職員の享受している給与が保障されるとは思っていないでしょう。職員間でも世代間格差が広がっています。持続可能でメリハリのある給与制度の構築が必要です。

# 池上がこれまで議会で取り組んできたこと

毎回の「市政報告NEWS」の中で、詳しいご報告をさせて頂いたものの総集編です。皆さんからの関心が高かったものを取り上げさせていただきました。

## 1 違法性・不当性が疑われる事業。

(終了: 解決されたもの)

### 職員の退職時の1号級・2号級アップの廃止

職員の退職日に給与の等級があがり、その計算式が退職金に反映される。

### 職員給与表の「わたり」の見直し

### 非常勤職員のボーナス、退職金支給

### 退職職員の再雇用制度→再任用制度

「再雇用」(一人当たり人件費年間約700万円)については、条例の根拠がなく支給した給与は違法支出の疑いがある。平成14年に条例が作られ「再任用制度」(一人当たり人件費年間約260万円)に移行。私は再任用制度にも懐疑的ですが……。

### 職員の時間外勤務手当の制度のは是正

16年前、職員の手当に疑問を持った最初のとっかかりです。当時、残業の一番多い職員の方には年間300万円もの残業手当が支払われていました。

### 職員の住居手当の見直し

### 職員の特殊勤務手当の一率加算の見直し

### 職員の通勤手当の見直し

### 大阪府市町村職員互助会への公費負担

互助会事業の大部分を占めていた「職員の退会給付金」(やみ退職金)部分が平成17年に廃止。年間約3億円の枚方市負担分が約1億円に減額。やみ退職金は各紙の職員退職金に上乗せされて、一人平均約500万円が上乗せ給付されていました。平成21年には互助会自体が解散。当然ですが、枚方市負担分はなくなりました。

### 事業系ごみの処理料金の適正化

枚方市の清掃工場に運び込まれる「ごみ」の内、その3分の1を占める事業系のごみ(商店等事業による出るごみ)は、法律で「その費用は事業者が負担する」となっているにもかかわらず、枚方市が安い料金で焼却処理をしている。その差額の年間約3億円について違法性が疑われる。

### 職員組合との労働協約の正常化

以前は職員の労働条件に關係がある、ない、にかかわらず、ほとんどの枚方市の事業に組合合意が求められていた。

### 職員組合との労働協約の正常化

以前は職員の労働条件に關係がある、ない、にかかわらず、ほとんどの枚方市の事業に組合合意が求められていた。

### 職員会館の組合事務所への334m<sup>2</sup>の無償貸与

未解決

労働組合法7条(不当労働行為)では原則として、「経理上の援助を組合に与えてはならない」とされ、但し、必要最小限の貸与は違法ではないとされているが、駅前の一等地の334m<sup>2</sup>が必要最小限と言えるのかはなはだ疑問である。料金負担をお願いすべきだ。

### 公立中学校の授業時間の正常化

なぜか、枚方市内の61%の中学校の授業が、基準である50分が45分となっていた。義務教育に対する組織的な法令違反の疑いがある。(当時の中野教育長が即時対応)

## 2 市民合意が得られないと思えるもの、古い慣行のは是正

### 大阪府市町村職員健康保険組合への公費負担の適正化

法律では、職員と自治体（枚方市）の負担割合を「1対1」とされているにもかかわらず、昭和37年の特例を盾に、枚方市が「1対1, 46」の加重負担をしている。その差額は年間約1億6000万円にもものぼる。大阪府を除くほとんどの自治体職員や大阪府職員、サラリーマンの方は「1対1」です。……平成22年12月によく終わりました。

### 市民病院、火葬場及び公共施設の利用料の市民と市外利用者の差額料金設

**職員の勤務時間8時間への改正**  
平成14年7時間30分→7時間45分へ。  
給与を国に合わせるなら勤務時間も国に合わせて8時間にするべきではないか。職員の平均人件費で計算すれば15分間の差が年間約2億円分になる。

### 職員の定年退職制度の改正（誕生日退職）

年1回退職から2回になったのですが、戻そうとする流れがあります。一般企業では普通のことだと思うのですが。

**職員の「休息」時間の廃止→「休憩時間」ではありません。**  
お昼の12時45分から1時までの15分間の「休憩時間」が廃止されました。仕事は机についていなければならぬ制度が廃止されない…得体のしれない制度になりました。年間約2億円分

### 職員のネームプレート着用

### 職員・議員駐車場の有料化

### 市の施設内にある自動販売機の設置手数料収入

市役所、清掃工場、生涯学習センター等多くの公共施設に設置している自動販売機の約について窓口の一本化と契約の整備、設置料金を設置業者から徴収し市の収入に入れるべきだと指摘しました。平成21年度から、入札制にし約3000万円の収入が市に入るようになりました。

### 市役所入口正面にあった「巨大な組合掲示板」の撤去

### 「広報ひらかた」の不適切と思われる表現の改善

- ① アルバイト職員の募集記事での「男子学生募集」の表記。男子を外した途端に女性の応募者があり、暑い夏でしたがごみ収集をがんばりました。
- ②毎回のように色々なイベントでの「市内在住・在職家庭婦人」の募集記事。在職の家庭婦人って…いったいどんな方??理解しがたいのですが、外すまでとても時間がかかりました。

### 枚方市立の各小学校で行われていた、修学旅行の随意契約

関東では、学校関係者を巻き込み、事件に発展したケースもありました。現在では全て毎年入札。

### 国民健康保険（市民の約3分の1加入）の医療情報本人通知と保険証の個人配布

- ①個人情報の最たる「医療情報」の、家族分全てが世帯主に送付される問題
- ②家族それぞれに対して、健康保険証を配布すべきではないのか。（他の組合はほとんどカード化、個人単位）  
＊国民健康保険の本質的な問題は、どこの組合にも入れない市民をまとめて国民健康保険に入れ、収支を合わせることなのです。平成23年度予算では一般会計から5億円のお金をつけ込みます。立法・国の制度を待つかありませんが、一刻も早く解決しなければ國の医療制度そのものが崩壊します。

### 3 その他

教育委員会の市長部局への権限移譲（学校教育への集中）

法制室（政策法務）の設置

人権協会の廃止・既得権益としての同和事業からの脱却

妊婦健診への助成の拡充

DV（家庭内暴力）被害者の「駆け込み寺」設置

配偶者からの暴力を受けたことがある女性3割、その内、命の危険を感じたことのある方が3割という数字があります。「どのような理由があっても暴力は許さない！！」という行政意思を示すべきです。

### 中学校給食の実施

中学校の「完全給食率」は、全国平均で81.6%と驚くような数字です。それに引き換え大阪府では、7.7%で全国最下位。枚方市は0%。大阪府下の自治体は他の自治体が中学校給食にかけたお金を、一体、何に使ったのでしょうか。

### 消防組合の分離

枚方市（人口約41万人）は、寝屋川市（人口約24万人）と共同で「枚方寝屋川消防組合」を構成しています。①類似都市に比べて経費が余計にかかっている。②市との連携が取りにくい。③人口規模を考えれば合同でやる理由がない。…お隣の交野市は約8万人の人口ですが単独消防です。

### 4 議会内での取り組み

議会報の重要案件に対する票数記載

議会報の重要案件に対する票数記載

コンプライアンス（口利き防止）条例制定  
(2006年に全会一致)

議員厚生会の人間ドックへの公費負担完全廃止  
2007年  
政務調査費の領収書の全面公開  
2007年

個人視察の補助金、年10万円の廃止  
2007年

#### 議員定数削減と報酬カット

枚方市は人口規模のよく似た類似自治体と比較して、「一番少ない議員定数」、「一番多い議員報酬」です。何が適正かという議論を別にすれば、減らすべきは「報酬」だと思うのですが、前回から議員定数が36人から34人になりました。

\*ちなみに、4年前の選挙では34議席に53人の立候補者がおり、19人も落選という全国でもまれな激戦地ですが、投票率は46%台にとどまりました。

キリトリ

郵便はがき

573-1107

枚方市議会議員  
池上のりこ

枚方市楠葉中町35-16

切手をお貼り下さい。

キリトリ

今年は、4年に一度の統一地方選挙の年にあたりますが、市長選挙の日程が8月にずれてしまい投票率が心配されます。

国も地方も増え続ける借金、医療・年金等、持続可能な制度への転換も待ったなしです。枚方市の将来に大きな影響を及ぼす市議会議員選挙が4月17日(日)からはじまります。

## 市議会議員投票日:4月24日(日)

女性の選挙権が認められたのも、たった65年前…そんな昔のことではありません。

Let's Go 選挙!



大切な、「選挙権」「被選挙権」です。

テレビの政治番組を見ながら「がつん!!」と言っても何も変わりません。

信号は待っていれば変わります。雨降りも待っていればいつかはやみます。  
けれど、政治は待っているだけでは何も変わりません。

変えたくない人は、人数は少なくとも声と力は大きいからです。

棄権は抗議の意思表示ではなく既存の政治に対する追認です。

「そうだ。選挙、行こう♪」

※ご意見(パブリック・コメント)をお寄せください。

### パブリックコメント(ご意見)



(フリガナ)	
お名前	年齢 歳
ご住所 〒	



### ◆無党派の良心的な棄権者の皆様へ

投票にあたって、この人が絶対だと思えなくともいいんです。まだましと思える何人かの一人を「えいやっ!!」って投票しましょう。

でなければ、あなたが絶対選ばない候補者への「NO!」は届かないのです。

### ◆若い棄権者の方たちへ

投票に行かない若い世代に対して、政治は「負」の部分を押し付けます。投票に行かない層は怖くないからです。

押し付けられた山ほどの借金を返済しなければならないとき、決定者たちはこの世にいないかもしれませんのです。